



昔は希望を未来で

園舎西側のフェンスに添え梅雨の晴れ間の冬陽花が満開を迎えようとしてます。

十年以上前に卒園児の祖父母様がご自宅のお花を分けて作って下さった花壇です。今年も早朝から水やりをさせて頂きました。

毎年春季にはつづじが咲き、花びらが整理を終える冬陽花が咲き始めます。

うらとおいしい梅雨の季節ですが、子どもたちは雨の音や傘下のリズム虫たちや咲く花の移り交りを感じる声必として、園庭や公園に出て身近な楽しみをします。

また、これも卒園児のおじいちゃんやが、秋のお芋掘りに備えて丹精してきて下さるさつま芋畑へ中川敷園と呼んでいます。への散水がこつのお散歩も、日々に育つて行くお芋を観察しながら、成長への期待と喜びを感じていきます。

このように、梅雨の合間に見せる

お日様の笑顔は、園外で遊ぶ子どもたちの笑顔そのものになり、「あか」とうの気持ちと共に、「元気」を「層」かき立ててくれることでしょう。

七月は待ちに待ったプール開きから始まりです。

大好きな水遊びが始まるので、泥んこになつたり、水まかけあたり泳ぎを競ったりする水遊びは、子ども们的エネルギの消費と蓄積が同時にできる不思議な力のあふ遊びです。

屋上に組立てた大きなプールで、子どもたちのダイナミックなエネルギな遊びが始まります。

梅雨が明けるとは、むしろ暑かたり急に涼しくなったり、天候気温湿度の変動が大きくて、体調を崩しやすいので、これから迎える本格的な暑さと大好きな水遊びに備えて、早寝早起きから始まる生活リズムを大切に遊びと休息・栄養のバランスを良くし、心身の健康維持、増進に努めましょう。

とこうで梅雨の晴れ間の夜々を「覚」になさいますか。六月は「満開」の「六月」まつりです。

お日様の感性に感動したお母様をつい散告です。美しい自然に感動する心は人間誰にでも生得的に身に付いていると確信できる天候の恵みです。

豊かな感性は豊かさを育みます。折々の子どもの心まじりを受け止めて（受け流す）ではありません。あつたか、豊かな心情を去るんだと思えます。

この七夕行事に合わせて六月末には製作への協力、あがとうございました。襦袢、着屋の物語が夜空への願いを高く夢がまひりますように祈ります。

子どもの夢は希望です。未来です。ひとりとりが希望を持ち、明るい未来を信じて、美しいものや美しい自然に感動する心を持ち続けたいと切に願う。

七月を迎えます。

園長 福田孝子